

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 23 年 12 月 17 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490500		
法人名	医療法人社団和恒会		
事業所名	認知症対応型共同生活介護 グループホーム ふたばホーム		
所在地	呉市広白石四丁目1番11号		
自己評価作成日	平成23年11月17日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先UR	http://www.hksjks.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3490500182&SCD=320
------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成23年12月6日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>・広いスペースで、ゆっくり過してもらっています。季節の食材を取り入れ、温かくて、おいしい食事作りに力を入れています。料理、洗濯、掃除等の作業を利用者の皆さんと一緒にしています。出来ることは参加してもらおうことを原則としています。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>・管理者と職員は何でも相談出来る雰囲気の中で業務改善に取り組み、事業所運営に生かしている。きめ細かな支援は、入居者の明るい笑顔となって暖かい雰囲気を作り出し、家族の信頼と満足度の高い事業所である。</p> <p>・全職員は入居者に寄り添い、入居者とともに生きる喜びを見出すことを指針としており、管理者、職員が協働しながら支援に取り組んでいる。その中で9名の入居者が穏やかにゆったりとした生活を送っている。</p> <p>・母体組織や併設の事業所と連携をとりながら、地域に根ざしたグループホームを目指しており、穏やかにくつろげる快適な雰囲気づくり・人と人とのつながりを大切に、なじみの人間関係づくりを地道に作りあげている。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	法人の理念とは別に職員で話し合っって事業所独自の理念を作り、取り組んでいる。	全職員で話し合っって作りあげた理念を理解し、共有し、日々の支援に取り組んでいる。 この取り組みにより、穏やかにくつろげる快適な雰囲気づくり・人と人とのつながり、なじみの人間関係が出来ている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	日常的な交流は出来ていないが、地域のボランティアを受け入れたり、近隣の方への挨拶は欠かさないようにしている。	地域の方や民生委員の方などの力を借りて、交流を図ったり、地域の行事等に出かけて接点を持つ努力がなされている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進委員会に於いて認知症についての資料を配ったり、勉強会を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	施設の現状や問題点を報告し、一緒に考えていただき、意見交換、サービスの向上に繋げている。	2ヶ月に1度会議を持ち、内容を工夫し、外部からの意見要望を運営に活かしている。 また、事業所の現状を報告し、理解していただけるよう努めている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進委員会への参加依頼、また、会議の報告を市、地域包括支援センターに行っている。	運営推進会議の際に、市担当者及び地域包括支援センター職員と、状況報告や運営上の相談、指導を受けており、協働関係が出来ている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	徘徊の激しい方がいるため、玄関の施錠のみしている。	外部研修受講や、事業所独自の拘束禁止マニュアルを作り、職員間の知識の共有に取り組んでいる。 現時点では、入居者の安全のために家族の同意を得て玄関は施錠している。	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	虐待はあってはならないことで、些細なことでも見逃さないようにしている。		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	職員全員が完全に理解しているとは言えないが、成年後見制度については研修にも取り入れて勉強している。		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	契約時に契約書、重要事項説明書、運営規程を参照しながら説明し、同意、納得していただけるよう、努めている。		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	利用者の意見を傾聴し、不満等を運営に反映している。意見箱も設置している。	運営推進会議や家族の訪問時に、職員や事業所側から意見等を積極的に聴く努力をしている。 何でも話し易い雰囲気づくりが出来ており、出された意見等はミーティングで話し合い、運営に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	職員全員が揃うミーティングの他、ノートを使い、意見交換している。	管理者は常に現場に出ることで介護、業務についての意見を聞いたり、職員に対しても声がけをし、調整しながら質の確保につなげている。	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	定期的に面接を行い、働きやすい環境作りに努めている。		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	法人内外の研修、講習会への参加を呼びかけ、実施している。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	同じ法人内ではあるが、ふたばの家の管理者、職員と交流し、意見交換をしている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	体験入居をしてもらい、様子観察し、本人の要望に傾聴し、対応するよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	相談時、面会時に家族から表出される問題点等に対応するよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	複合施設なので当施設だけでなく、多方面にわたり利用できるものを相談させてもらい、他を紹介することもある。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	利用者に料理の作り方や風習を教えってもらうなど、ゆっくりと同じ時間を共に暮らす関係づくり、和める雰囲気作りに努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	細かい点についても家族と相談し、了解を得ながら支援している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	利用者の希望時に電話をかけたり、手紙を出したりすることを手伝っている。面会も自由にできる設定にし、多くの方に来ていただいている。	知人、友人等に訪問してもらったり、電話や手紙での連絡を取り持つ等、つながりを継続できる支援をしている。また、ボランティア訪問者などとの新しい馴染みづくりにも取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	食堂の席順、入浴日等の調整で和やかな雰囲気作りが出来るよう、気配りし、孤立しないよう声かけしながら、利用者同士の親しい関係作りに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去された後も、入院先の病院を訪ねたり、家族に近況を聞いたりしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	心地よい暮らしが出来るよう、ゆっくり一人ひとりの希望に合わせるよう努めている。	職員は日常の入居者とのふれあいの中で直接聞き、あるいは表出困難入居者からは、仕草から感じ取った希望や意向を業務日誌等に記入し、全員で情報共有のうえ支援に活かしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	一人ひとりの生活歴を把握するよう努めている。利用者にもいろいろな場面で聴くようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	一日の体調の変化や現状の把握は職員間の申し送り等により把握し、交代後も継続してケアできるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	利用者一人ひとりの状態にあった計画を作成するよう努めている。	家族、職員から情報収集を行いケース検討会で話し合い、統一した見解で介護計画を作成している。 設定期間内で変化があつた場合は、都度変更し、現状に即した計画にしている。	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	介護記録を日勤と夜勤で記入し、職員間で情報を共有しながら、実践、介護計画の見直しをしている。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	利用者や家族の要望に対しては、出来るだけ柔軟に対応するよう努めている。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	民生委員、自治会長、ボランティア、消防等の協力を得ている。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	協力病院の担当医の適切な医療が受けられるようになっている。	医師と連携をとり、入居者、家族が同意のうえ、適切な医療を受けられるように支援している。 受診の結果は、報告を受けて介護計画に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	訪問看護師とは日常的に連絡を取り合っており、利用者の健康管理を行っている。協力病院の看護師にも相談を受けてもらっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院との情報交換、相談等を行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時重度化や終末期の対応については、同意書で説明し、状態に応じ話し合いするよう努めている。地域の関係者との共有はまだない。	グループホームとして出来る限りの対応を行っており、協力体制も説明している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	マニュアルを作成し、利用者の状態に応じて対応できるようにしている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防署の協力を得て訓練を行っている。	消防訓練は年2回消防署立会いのもとで、実施している。マニュアルを整備し、緊急避難先も決め、運営推進会議を通じて地域の協力を依頼している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	声掛けの内容等プライバシーを損なわないよう、気をつけている。トイレ誘導時でも他者にわからないよう行っている。	職員は入居者に対し、人生の先輩として常に尊敬の念を持った言葉かけと態度で接することを、会議などで確認し合っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	コミュニケーションを密にとり、本人が希望を表すことができるよう、そして希望が出来る限り優先されるよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者一人ひとりを尊重し支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	本人の希望で美容院に行く方もあるが、訪問美容サービスの利用が増えている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	一人ひとりの好みを聞き、利用者と職員と一緒に準備して食事し、片づけをしている。	日々の関わりの中で好みの食べ物、調理法等を工夫しており、後片付けなども入居者一人ひとりの力を活かしながら、職員とともに行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>献立、食事量をチェックし、水分補給に関しても、頻繁に声かけをしている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>食後の口腔ケアは声かけ、見守りのもとで行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄記録をとり、パターンや習慣を活かして排泄できるようトイレ誘導などしている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排泄管理表に記入し、下剤の調節、飲食物の工夫や体操を行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>一応入浴日は決めているが、希望やその日の体調等に合わせ、柔軟に対応している。</p>	<p>入居者に無理強いすることなく、一人ひとりの意思に合った入浴をしている。個々のペースに合わせてゆつたりとした入浴ができるよう、言葉かけを行い、楽しんで入浴していただいている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	一人ひとりの生活習慣やその時々状況にあわせ、室内の温度等、環境に配慮し、安眠、休息ができるよう支援している。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	職員は一人ひとりの薬を把握し、確認して服用してもらっている。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	利用者が役割を持ち、ホームの生活を楽しめるよう、支援している。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	頻繁ではないが、利用者の状態に合わせてスーパーに買い物に行ったり、散歩したりしている。	天候や入居者のその日の状態に合わせて、近隣に散歩や買い物に出かけたり、併設の事業所に訪問しながら、気分転換等を図っている。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	現金の所持はしていないが、利用者が希望する買い物は家族の了解を得て、購入している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	利用者の希望で電話したり、手紙を出したりすることを支援している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共有の空間は常に居心地の良い、利用者一人ひとりが自由にくつろげる場になっている。	落ち着いた明るさの居宅兼食堂に開放された和室が隣接し、機能的である。共用の空間には清潔さに気をつけ、家庭的な雰囲気作りとプライバシーへの配慮に努め、くつろいで過ごしていただけるよう心がけている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	食卓を囲んだり、ソファで話をしたり、それぞれにゆっくり過ごされているようである。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	寝具、小物等は本人が以前から使われていたものを持ってこられている。殺風景にならないよう本人や家族と相談しながら、飾り物を置いたりしている。	入居者、家族と相談させていただき馴染みの家具や思い出のある品を居室におき、その人らしい居室で、おちついて過ごせるように工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	利用者が混乱、失敗がないよう、部屋の表札を大きくしたり、トイレをわかりやすく表示したりしている。		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 ふたばホーム

作成日 平成 24 年 1月 26日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	48	ひとりひとりの役割、楽しみ事を見直す	張りのある生活を支援する	利用者の要望役割を再確認し、レク、スケジュールを見直し、張りのある生活を実現する	6ヶ月
2	49	外出の機会が少ない	外出の機会を増やし気分転換をはかる	散歩のほか館内他施設やテラスを有効活用し、外出気分をあげていただく	1年
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。